

一般社団法人日本鉱物科学会

2023年度 第1回臨時理事会 議事録

【1】 招集年月日：2023年12月4日(月)

【2】 開催年月日及び時刻：2023年12月14日(木) 18時00分～19時35分

【3】 開催場所：山口大学理学部 大和田研究室
753-8512 山口市吉田1677-1
(ZOOM Meetingによるオンライン会議)

【4】 理事総数および定数：総数22名，定足数12名

【5】 出席理事数：17名

会長：大和田正明 副会長：井上 徹

理事：池田 剛，磯部博志，大藤弘明，鍵 裕之，河上哲生，川本竜彦，興野 純，
栗林貴弘，黒澤正紀，高澤栄一，富岡尚敬，永井隆哉，永嶋真理子，坂野靖行，三宅 亮

【6】 欠席理事数：5名 阿部なつ江，亀井淳志，辻森 樹，土屋範芳，M.Satish-Kumar

【7】 出席監事：下林典正

【8】 オブザーバー：(理事以外の幹事，委員長等報告事項報告者)

出席：片山郁夫 行事幹事，瀬戸雄介 Elements幹事，西原 遊 JpGU2023プログラム委員，
福士圭介 同副委員，池田 進 応用鉱物科学賞選考委員長，門馬綱一 新鉱物・命名・
分類委員長，土屋旬 IMA小委員長・学術会議連携会員

【9】 議事概要

大和田理事の発議により議長を理事の互選で選ぶことになり，磯部博志理事が議長に選出された。次に，決議定足数と開始時刻における出席理事数の確認を行い，理事17名の出席を確認したので，定款30条により理事会が成立した。このことを受け，磯部議長はWEB会議システム(ZOOM Meeting)を用いての理事会開会を宣言した。また，WEB会議システムの通信状況(出席者全員の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり，適時的確な意見表明が互いにできる状況)に問題がないことを確認し，2023年度第1回臨時理事会を開始した。

会議に先立ち，理事の互選で磯部博志理事が書記として選出された。

I. 報告事項

1. 会員報告（阿部会員幹事・理事 代理：磯部庶務幹事）

阿部会員幹事代理として、磯部庶務幹事より2023年度第1回定例理事会(2023年9月16日)以降の会員動静について以下の通り報告がなされた。

物故会員2名，退会者1名（学生会員1名）

この結果，2023年12月14日現在の会員数は
819名(2023/9/16定例理事会)-2(物故)-1(退会)=816名 となった。
なお，1名の入会申込みに対し，この後審議を行う。

2. 広報報告（大藤広報幹事・理事）

大藤広報幹事より，広報活動について以下の通り報告がなされた。

(1) 会員へのメールニュース送信

事務局の猪狩さんから会員向けにメールニュースを送信いただいた（2023年年会・総会以降，2件：2023年年会・総会の終了報告，研究発表優秀賞の審査結果，JMPS特集号へのLetter原稿募集，Elementsのオンライン購読への変更について）。

(2) 学会新HP，SNSを通じた広報活動

新HPの更新対応は，広報幹事の大藤と広報委員の浜田で随時対応できる体制をつくり，主に事務局からの依頼を受けて情報掲載を行った（2023年年会・総会以降，会員向け連絡2件，公募情報14件，関連学会情報2件，新刊紹介2件）。

更新に迅速に対応できる体制が整った。

英語版HPの拡充のため，専用ページを追加した場合に必要な費用について（株）アクセライトに見積もりをお願いした。英語ページ構築費として¥99,000の見積もりを得ている。

(3) 地学オリンピック「地球にわくわく未来ガイド」への広告原稿提出

地学オリンピック参加者へ配布する冊子「地球にわくわく未来ガイド」に日本鉱物科学会の紹介広告（A4・1ページ）の原稿を提出した（学協会の広告掲載は無料）。

(4) 科学技術振興機構（JST）発行のWebマガジン「Science Window」の特集号（来年度発行）で，「鉱物」を含めた一家に1枚ポスターを紹介する予定との連絡があった。

英語ページの整備については，JMPSへの投稿促進にも繋がると考えられるので，現在の会計状況でも先行投資として支出可能ではないかとの意見が出された。作成範囲，方法を精査し，見通しが確定した上で，改めて理事会に諮ることが確認された。

3. 和文誌編集報告（高澤和文誌幹事・理事）

高澤和文誌幹事より，2023年9月16日第1回定例理事会報告以降の状況が議事資料に沿って報告された。

(1) 発行状況: 52巻1号電子ジャーナル3編公開

- ・最近の研究から「マグマレオロジーの分子スケールでの理解：時分割放射光 X 線回折・散乱実験からのアプローチ」奥村 聡
- ・日本新産鉱物情報「日本新産鉱物情報（2022年）」松原 聡

・鉱物の分析及び実験・解析のコツと勘どころ「表面形状観察のための高分解能走査電子顕微鏡法」小暮 敏博

(2) 現在受理論文：1編（受賞記念研究紹介）2023年53巻 早期公開済み・初校作成中

(3) 現在査読中論文：3編（総説-講義シリーズ2編，博士課程学生・若手研究紹介1編）

4. 英文誌編集報告（M. Satish-Kumar英文誌幹事・理事 代理：永井隆哉副編集委員長・理事）

M. Satish-Kumar英文誌幹事代理として，永井副委員長より，2023年9月16日第1回定例理事会報告以降の投稿，編集及び発行状況が議事資料に沿って報告された。

2023年投稿件数 42件

編集状況：早期公開準備・印刷準備中；2件，査読中：9件，返却中：6件

発行状況：

・118巻1号 原著論文20編 Letter 4編 Reviews 2編 計321頁

・118巻 ANTARCTICA号 原著論文17編 計299頁

第1回定例理事会後の電子ジャーナル公開は，118巻1号 10件，ANTARCTICA号 6件

充実した特集号となった。皆さんreferをお願いしたい。また，奮って投稿をお願いしたい。

2022 JMPS Impact Factor: 0.7

(2021; 1.041, 2020; 0.72, 2019; 0.764, 2018; 1.472, 2017; 1.030, 2016; 0.409,

2015; 0.648, 2014; 0.742, 2013; 0.656, 2012; 0.589)

5. 庶務報告（磯部庶務幹事・理事）

磯部庶務幹事より，2023年9月16日第1回定例理事会報告以降の状況について以下の報告がなされた。

(1) 他団体行事への後援について

社会地質学会 第33回社会地質学シンポジウム 2023年11月24-25日

公益社団法人日本アイソトープ協会 第61回アイソトープ・放射線研究発表会 2024年7月

(2) その他

奨励賞と応用鉱物科学賞の副賞を購入している(株)ジョイテック様より，創立50周年のご挨拶と御礼があった。次回年会で披露する。

6. 行事・年会報告（片山行事幹事）

片山行事幹事より，2023年年会会計最終結果ならびに年会開催ガイドラインの改訂について，議事資料に沿って報告された。

2023年年会会計については，昨年より参加者が約10%増となったこと，施設利用料が少なかったこともあり，30万円弱の黒字となった。来年度は広告収入を増やすよう取り組みたい。

ガイドラインについては，マニュアル的な記載を整理した上，オンライン開催の取扱，招待講演の設定，キャンセルへの対応，受賞者の参加登録費などについて改訂した。ま

た、研究発表優秀賞に関するガイドラインについて、報告先について改訂した。

理事からは、広告展示、学生と企業との交流会の案内など、広告収入を増やすためにも連絡先リストを更新する必要がある旨発言があった。広告費設定を含め、行事委員会で検討、チェックの上で理事会に提示する予定である旨説明があった。

また、非会員の招待講演者への支援について発言があり、ガイドラインとしてはこの文言で対応できると思われるが、具体的な取扱については行事委員会で検討する旨説明があった。

7. その他の幹事、委員会、部会報告

(1) 会計報告（富岡会計幹事・理事）

2023会計年度の状況について報告された。収入では、大阪年会剰余金があった。支出は、Elements購読料が主なもので、現状、予算より若干多くなっている。

特定資産から、研究発表優秀賞受賞者への渡航支援、受賞者登録料、年会懇親会費を規定に従って支出した。

(2) Elements報告（大和田会長、瀬戸Elements幹事）

11月半ばのexecutive meeting 報告が届いた。順調に発行とオンライン化が進み、単価は当面据え置きとなっている。

Society newsについては、順調に原稿が届いている。他に記事がありましたら連絡を。

(3) IMA小委員会報告（土屋委員長）

日本学術会議第26期が10月に始まった。IMA小委員会の委員も交代したため、12月1日に開催して新委員長を決定した。土屋委員長、大藤副委員長、永島幹事が就任した。

2024年8月アイルランド、ダブリンでのIMA business meetingでcouncilの投票が行われる。日本から参加する方を募る必要がある。

IMA小委員会の活動と鉱物科学会の活動の連携を深めて行きたい。

(4) JpGU 関係報告（磯部庶務幹事、西原委員）

12月5日に開催されたJpGU学協会長会議に、磯部が大和田会長代理として出席した。学術会議との関係等について議論された。学協会セッションとして、鉱物科学会提案のセッションが例年通り開催される。

II. 審議事項

第1号議案 新入会承認の件（阿部幹事・理事 代理：磯部庶務幹事）

議事資料の通り、一般会員1名の入会申請が紹介された。申請者は紹介者がなく、自己紹介文による申込みであったため、自己紹介文を提示した。審議の結果、異議なく入会が承認された。この結果、2023年12月14日理事会終了時点の会員総数は817名

(内訳一般会員514名、シニア会員168名、学生会員88名、永年会員38名、名誉会員9名)で、2023年9月16日の定例理事会後より2名の減少となった。

第2号議案 各賞選考委員会委員の指名について（大和田会長）

大和田会長より、内規に基づいて各賞選考委員会委員長によって指名された新任委員が提案され、審議の結果、異議なく承認された。選出された委員は下線の通り。

① 日本鉱物科学会賞選考委員会委員

委員長：桂 智男(会長指名，第1回定例理事会にて承認)

副委員長：野口高明(1期目委員から委員長が指名)

委員9名(委員長指名)：野口高明，阿部なつ江(理事)，磯部博志(理事)，海野 進，
額 額 佑衣，境 毅，杉浦 悠紀，田阪 美樹，中野 伸彦，大和田正明(会長)

② 渡邊萬次郎賞選考委員会委員

委員長：永井隆哉(会長指名：前年度副委員長，第1回定例理事会にて承認)

副委員長：土屋範芳(1期目委員から委員長が指名)

委員：(2期目継続委員)：鍵 裕之(理事)，坂野靖行(理事)，永寫真理子(理事)
(1期目委員4名選出)：土屋範芳(理事)，小山内康人，黒澤正紀(理事)，
宮脇律郎

③ 日本鉱物科学会論文賞選考委員会委員

委員長：佐野亜沙美(会長指名：前年度副委員長，第1回定例理事会にて承認)

副委員長：星出隆志 (1期目委員から委員長が指名)

委員：(2期目継続委員)：秋澤紀克，遠藤俊祐，斎藤 哲，三宅 亮(理事)
(1期目委員5名選出)：星出隆志(副委員長)，永寫真理子(理事)，水上知行，
宮原正明，湯口貴史

④ 日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員会委員

委員長：片山郁夫(会長指名：前年度副委員長，第1回定例理事会にて承認)

副委員長：佐久間 博(1期目委員から委員長が指名)

委員：(2期目継続委員)：富岡尚敬(理事)，亀井淳志(理事)，川野 潤，瀬戸雄介
(1期目委員5名選出)：佐久間 博(副委員長)，市山 祐司，川添 貴章，
小松 一生，中野 伸彦

⑤ 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会委員

委員長：池田 進(会長指名：前年度副委員長，第1回定例理事会にて承認)

副委員長：門馬綱一(1期目委員から委員長が指名)

委員：(2期目継続委員)：奥寺浩樹，川野潤，中塚晃彦，森本和也
(1期目委員5名選出)：門馬綱一(副委員長)，岡本 敦，黒澤正紀(理事)，

杉浦悠紀, 三宅 亮(理事)

なお、永井委員長より、渡邊萬次郎賞については基金が払底しつつあるため、本年度については選考を進めることが出来るが、今後の対応については理事会で検討していただきたい旨、資料に基づき説明があった。

第3号議案 選挙管理委員会委員の指名について（磯部庶務幹事・理事）

磯部庶務幹事より、内規に基づいて3名の会員が選挙管理委員会委員として提案され、審議の結果、異議なく承認された。

遠藤俊祐（再任，委員長），伊神洋平（新任），横山 正（新任）

第4号議案 会長・副会長候補者推薦委員会委員の指名について（磯部庶務幹事・理事）

磯部庶務幹事より、内規に基づいて5名の会員が会長・副会長候補者推薦委員会委員として提案され、審議の結果、異議なく承認された。

阿部なつ江（理事），永井隆哉（理事），鍵 裕之（理事），興野 純（理事），伴 雅雄

第5号議案 庶務副幹事任命について（大和田会長）

大和田会長より、庶務幹事所掌事項の円滑な遂行のため、庶務副幹事を二人体制としたい旨が説明された。新任の庶務副幹事として、安東淳一会員（広島大学）の任命が提案され、審議の結果、異議なく承認された。

第6号議案 Mongolian Society of Economic Geologistsとの交流協定延長について（大和田会長）

大和田会長より、2011年に締結し、2019年に延長を調印したモンゴル Mongolian Society of Economic Geologists (MONSEG)との交流協定について、相手方から協定を再延長したいとの意向が表明されている旨が説明された。延長が承認された場合、2024年JpGU連合大会に合わせて来日し、調印したいとのことである。

本協定の延長が提案され、審議の結果、異議なく承認された。

第7号議案 （株）成山堂書店書籍企画への対応について（磯部庶務幹事・理事）

磯部庶務幹事より、（株）成山堂書店から「みんなが知りたいシリーズ 鉱物・宝石の疑問50」（仮称）と題する書籍企画について、本会にて編集委員会を組織し、執筆者選出の依頼があった旨説明された。

宮脇前会長からは、類書との関係など検討する必要があるとの意見を頂いている。アウトリーチ活動として重要なので、積極的に対応すべきとの意見が出された。これら審議の結果、学会として引き受ける旨が承認された。

その他審議事項

特になし.

【10】閉会

閉会 以上の議事を終え、19時35分に閉会した.

上記の決議を明確にするため、出席した会長、副会長及び監事がこれに記名押印する.

令和 6年 1月 10日

会 長 大和田 正明 印

副会長 井上 徹 印

監 事 下林 典正 印

(配布時押印省略)